

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンド地蔵

調査期間：令和5年 1月 4日～令和5年 1月 31日 (5名中 5名回答)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		活動内容によって狭く感じる事はあるが、限られたスペース内で個々が安全に活動できるよう、心がけている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1	最低人数は満たしている。午前中の支援を進めている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2	訓練指導室からトイレまではバリアフリーになっており車椅子でも利用できる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		毎日清掃し、心地よく過ごせる環境にしている。毎日の清掃に加え、子どもが口に入れないよう、ごみはすぐに拾っている。活動にあわせた空間となっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2	毎日、ミーティングを実施しており職員全員から意見を聞いている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		業務改善をしていくミーティングを常に行っていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		ホームページに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		8	改善につなげていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		社員研修、アセスメント講習等、定期的に行い、研修議事録を回覧し徹底している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		相談支援専門員と連携をとり、十分な時間を費やして支援計画書を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		キッズボンドグループで標準テンプレートがあり、それを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		相談支援専門員と連携をとり、十分な時間を費やして支援計画書を作成している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	2	支援目標、支援内容等、支援計画に沿った支援を意識し、支援を共有するよう徹底している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		原案を担当者が決め、職員のディスカッションで決定している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		職員で意見を出し合い、活動内容やルール等に変化を持たせたり、他の事業所のプログラムも参考にしながら工夫している。

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	8		個別活動と集団活動を組み合わせて支援計画を作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		毎日ミーティングを行い、周知している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		職員1人1人がその日の子ども様子や気づいた事を共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		支援計画に沿った内容の記録し、共有するよう徹底している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		原則、半年に一度モニタリングを行っている。必要であれば、前倒しで実施する。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		必要に応じて、サービス担当者会議を開催し共有している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		役場の担当者と連携をとっている。必要に応じて、関係機関との連携を取っていききたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8		医療的ケアを必要とする子どもは現在のところいないが、今後利用した場合、関係機関と連携していききたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8		医療的ケアを必要とする子どもは現在のところいないが、今後利用した場合、医療機関と連携していききたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		利用児が通園している子ども園と連携を取っている。今後も他の事業所と連絡を密にし、連携を図っていききたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		今後も他の事業所と連絡を密にし、連携を図っていききたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8		児童発達支援センターへの連携は少ないが今後も増やしていききたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	7	現在のところ、一緒に活動できていないので今後取り組みたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	2	自立支援協議会に参加して、情報共有を行っている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	日々の送迎時、保護者の会話の中や定期的に保護者との面談を通じ、共通理解をもっている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	1	定期的に保護者との面談を行ったり、利用日に直接話を聞いたりし、共通理解を行っている。	
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		契約時の重要事項説明書で丁寧に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		半年毎に支援計画の見直しを行い、保護者にモニタリングし、支援計画を説明し同意を得ている。

	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	電話対応、お迎え時にお話を聞いたり、個別に連絡をとり訪問をしたりしている。もっと知識を得られるよう努力したい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		8	父母の会や保護者会開催は必要と思うが、実施されていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		相談や申入れがあった場合は、担当指導員は管理者・児発管に報告し、保護者と面談するなど速やかかつ適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		毎月、キッズbond通信の発行、活動行事予定表を配布し周知している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		書類は鍵付書庫で厳重に保管、HP上の写真には保護者の同意を得た上、モザイクをかけている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		あいまいな表現を使わず、場合によっては視覚化して意思の疎通を図っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		8	地域住民が参加できるイベントは実施していない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		掲示等書類にして周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		毎月避難訓練を実施し、年2回消防署の来所で、救命講習や総合訓練（通報訓練）等の社員研修を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		医師の診断書に基づき、保護者より詳しく説明を受け対応している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		医師の指示書に基づき、保護者より詳しく説明を受け対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		事業所内だけでなく、グループ全体で共有し、意識を高めていきたい。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		研修は定期的に行い、毎月の職員会でテーマとして取り上げ、周知徹底している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		身体拘束について保護者に説明をし署名で了解を得ており、運営規定に記載している。